

第76回国民体育大会(三重) 山岳競技 東京都代表選手選考要項

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別3名（正選手2名、補欠選手1名）計12名の東京都国体代表選手を下記により選考する。

【国体参加条件】

1. 日本スポーツ協会（以下、JSPO）の定める国体参加資格の規定に準ずる。

（注意点）第74回または第75回大会（都道府県予選大会及びブロック大会を含む）において、選手・監督として出場したものは、異なる都道府県から参加できません。

参考）JSPOの規定 ⇒ <https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html>

2. （公社）日本山岳・スポーツクライミング協会（以下、JMCA）への選手登録を都道府県予選会の申込締切日までにすること。

尚、下記「特例措置」に該当した場合においても、都道府県予選会の申込締切日までに国体参加を希望する旨、予選会申込書にて行うこと。

【候補選手の選考】

1. 東京都代表選手選考大会

東京都代表選手選考大会は当該年度の「スポーツクライミング東京選手権大会」とする。

東京都代表選手として国体出場を希望するすべての者は、東京都代表選手選考大会において

リード及びボルダリングの2種目に出場しなければならない。

2. 特例措置の扱い

以下に該当する者は、東京都代表選手選考大会の免除対象となるが、代表選手は原則、東京都代表選手選考大会の結果から選考する。

- ① JSPOが定める「トップアスリートの国民大会参加資格の特例措置」の対象となる者。

参考）JSPOの規定 ⇒ <https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html>

- ② JSPOが定める「国民体育大会予選免除に関する要領」の対象となる者。

参考）JSPOの規定 ⇒

<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/kokutai/pdf/kitei64.pdf>

3. 候補選手の選考方法

(1) 順位得点 (ポイント)

東京都代表選手選考大会において、リード及びボルダリングの順位をもとに以下の「順位得点」が与えられる。

例)

1 位	2 位	3 位	3 位	5 位	6 位	...
1 点	2 点	3.5 点	3.5 点	5 点	6 点	...

※ 1 順位得点は東京都代表選手選考対象者のみに与えるものとする。

※ 2 順位得点はスポーツクライミング東京選手権大会のリード及びボルダリングの順位により算出する。

※ 3 種目順位においてタイ順位となった場合は、そのタイ順位内の人数で按分する。

(例) 3 位が 2 名の場合は 3 位が 3.5 点となり 4 位は不在となる。

(2) 選考方法

- ① リード及びボルダリングの種目順位得点に基づき下記の式から算出された総合得点の少ない者を上位とする。

$$TP = LP \times BP$$

TP : 総合得点

LP : リード順位得点

BP : ボルダリング順位得点

- ② ①の得点が等しい選手が複数いる場合は、より上位の順位得点を有する者を上位とする。
- ③ 決勝において②適応後、なお同順位の選手がいる場合、予選の総合得点へのカウントバックを行う。
- ④ カウントバック適用後、なお同順位の選手がいる場合、予選のより上位の順位得点を有する者とする。
- ⑤ ④適応後、なお同順位の選手がいる場合は直近に行われた主に IFSC 及び JMSCA が主催する大会 (少年男子、少年女子においてはユース大会を含む) における成績を参考に (公社) 東京都山岳連盟 S C 局 (以下、都岳連 S C 局) が選考する。

※ 悪天などによりリード種目中止の場合は、LP1 点とし BP=TP として算出する (ボルダリングは悪天決行)

【代表選手の決定】

東京都国体代表選手 (各種別の正選手 2 名、補欠選手 1 名) は上記の候補選手の中から都岳連 S C 局が決定する。

以上